

GSJ 地質ニュース

GSJ CHISHITSU NEWS

～地球をよく知り、地球と共生する～

2013

3

Vol. 2 No.3

特集：地質試料の先端分析システムとそのマネジメントの課題



口絵

地質調査総合センター共同利用実験室の概要	小笠原正継	65 ~ 66
誕生石の鉱物科学— 3 月 アクアマリン —	奥山康子	67 ~ 68

特集：地質試料の先端分析システムとそのマネジメントの課題

地質調査総合センター共同利用実験室と震災後の再構築	小笠原正継	69 ~ 73
GSJ 共同利用実験室における微小領域分析機器 —EPMA と SEM-EDS	下司信夫・斎藤元治	74 ~ 78
地質図作成における試料分析システム —岩石カッター室設置機器を中心に—	高橋 浩	79 ~ 81
粒子径を測る！—地質分野の粒子径測定機器のシステム統合化とデータの高度化計画—	七山 太・古川竜太・小笠原正継	82 ~ 85
X 線 CT による地質試料の分析：これから始める人のために	中島善人・中野 司	86 ~ 90
新素材開発における X 線回折の重要性	鈴木正哉	91 ~ 93
サイエンスアゴラ 2012 および産総研臨海副都心センター—一般公開出展報告	宮地良典	94 ~ 95
産総研特別顧問の石原舜三氏がハドン・フォレスター・キングメダルを受賞	森下祐一	96
スケジュール / 編集後記		

表紙説明

風蓮湖^{ふうれんこ}と根室海峡^{ねむろかい}を隔てる走古丹分岐砂嘴^{はしりこたん さし}と湖岸の急激な地形変化：

風蓮湖は北海道東部の根室半島の付け根に位置する汽水湖であり、北の走古丹分岐砂嘴（写真）と南の春国岱^{しゅんごくにたい}バリア島の形成するバリアによって根室海峡と隔てられている。これらの砂礫帯は摩周火山南麓（写真左上）を起源とする西別川によってもたらされた土砂からなる。即ち冬季に根室海峡沿岸に生じる強い北風に煽られて北西→南東の漂砂系が発生し、西別川流域からの土砂供給が豊富なために、現在でもバリア地形を維持し続けている。走古丹分岐砂嘴は北西から南東に 4 帯存在し、地殻変動に規定され外海側に周期的に遷移し続けているように見える。

（写真・文：別海漁業協同組合・七山 太¹⁾ 1) 産総研 地質情報研究部門）

Cover Page

Hashirikotan barrier spits situated between the Nemuro Strait and Furen-ko lagoon and their topographic change around the lagoon (Photograph and Caption by Betsukai fisheries cooperative and Futoshi Nanayama).